

歴史を歩く45

（大崎郷の最大の商業地として栄えた街（大崎上町地区））
 おおさきの歴史を旅してみませんか⑨
 ③



9 石敢当

この地域では、『せっかんとう』と呼ぶ。三叉路や曲り道などの突き当たりなどに建てられた石の碑。

魔物の侵入を防ぐ魔除けである。中国から琉球を経て伝わったものである。



8 都萬神社旧参道跡

現在は国道によって寸断されているが、都萬神社鳥居から国道を挟んで見える直線道路は、かつての参道跡である。

今も軽石組の石垣が残る。石垣を軽石で組むのは大崎郷の特徴である。



10 大崎山心慶寺跡

1470年頃に大崎城主肝付兼光きもつきかねみつによって建立された。それから間もなく領地替えて肝付家が溝辺に移ったため、寺は一旦は没落。約100年後の江戸時代に亀庵抱和尚が再興したものと推測されている。以後、大崎郷の菩提所となる。

霧島市福山町の大安寺だいはんじ ぜんしゅうそうとうしゅう（禅宗曹洞宗）の末寺である。現在は共同墓地となっているが、墓地敷地西側奥に初代 亀庵抱、4代目 通屋吞達、7代目 鳳山大瑞の墓がある。

【夏の特別企画展のお知らせ】

平成25年8月12日（月）～21日（水）の期間、中央公民館第2会議室におきまして、夏の特別企画展『無垢な空の下で』を開催します。

戦時体制化の日本では、今の私たちには想像もつかない暮らしがありました。戦時中の人々の心にどんな空が映っていたのだろうか？そんなことを思いながら、企画した特別展です。